

夏に鍛える

教員にとって夏休みは忙しい。

巷では、まだ「学校の先生は夏休みがあつていいな」という方がいらっしゃる。

そのようなことをおっしゃる方の情報収集が十分でないのか、教員（行政）の広報が不十分でないのか、悲しく思う。

自分も部活動が好きだったせいか、半日部活、半日職員室や理科室での業務、校務に関する宿題も多く、締め切りに追われ、帰る時間もいつもと変わらなかった。

ただ、授業がない分、時間のやりくりが可能で、時間の捻出は平時よりやりやすいと思う。

（特休や年休を使うことで上記の声が出てくるのかもしれない）

さて、夏は学会や研究発表会等が多く開催される。

私もいくつかの学会や研究会に所属しているので、8月の土日を中心に（近県ならば）出向いて研究発表をしてきたり、講演を聞いたりした。

学校現場や行政主催の研修会の内容とちょっと違った内容や視点があり、教員の教養と視野が広がる可能性がある。特に、「いま」ではなく「これから」どうなるかの視点は学会等が一番であろう。その情報をいまの授業にいかに盛り込むかで教員の指導技術や生徒指導に厚みと魅力が出てくると考えている。

さあ、暑い夏。セルフセミナーによりキャリアアップに取り組もうではないか。

※大学の先生方は、旅費や参加費は経費で捻出できるようだ。

教員は職務研修が認められないと無理で、すべて自腹であり、大学の先生には驚かれることが多くあった。

未来の自分への投資と考えることが一番であろう。